


寄せられた意見

No. 201

受付日	H18.12.19	年齢	居住 市町村名	
件名	第18回天塩川流域委員会ニュースを読んで			

平成18年12月19日

北海道開発局旭川開発建設部治水課内
天塩川流域委員会事務局 御中

サソルダム建設と町の活性化を図る会
会長 

第18回天塩川流域委員会ニュースを読んで


天塩川流域委員会の皆様には、自頃より流域の安全安心、住民の豊かな生活のため、ご尽力いただいていることに感謝を申し上げます。

第18回天塩川流域委員会ニュースを読んで感じたことを書かせていただきました。

治水に関する目標について議論がされている中で、「目標が高すぎると思う。今の堤防で十分流せるだろうと思う。」と買った意見が出ているようである。先人達が計画の高さを決めて築いてきた堤防が高いので、計画の水位を高くしても良いのではないか、10月の洪水でも大半は内水氾濫で、外水氾濫はほとんどなく目標が過大ではないかと言うことのように受け取りました。

地域に住む私たちにとって、今より危険になる計画で議論がされ、それが流域の意見として出されることは、耐えられないではありません。「緑のダム」や「ダム撤去」について報道されていますが、全く事実と異なることを知りました。委員会に出されている一部の反対意見も含め、この地域で生活している私たち住民を無視した身勝手な意見を受け止められ、本当に地域のことを考えて意見を出しているのか疑問を感じています。

水道や灌漑用水の不足についても疑いを持っている以上議論にはなりません。名寄川沿いの地元の若手農家は今でも水が足りない、将来必ず水の取り合いになる不安を隠しません。さらに、この土地を遊水地にする計画など認められるわけがありません。流域以外から意見を出されている方々には、意見は結構ですがもう少し現実をしっかりと見ていただき、地元のこの様な実態をきちんと把握していただくことを強く望みます。

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています